

第3回審議会での意見に対する対応(基本構想対応部分)

資料1-2

●質問及び対応済みのご意見

No	分類	ページ		委員からの意見	対応・質問に対する回答
1	はじめに	3	I - 1 6行目	将来構想だということを強調したいため「時代の変化に対応しながら」の後に「将来を見据えた」を追加してはどうか	追加しました。
2	はじめに	3	I - 2 - (1) 1行目	判りにくいので「中長期的な視点で将来都市像を明確にし、これらを実現するための基本目標・・・」としてはどうか	変更しました。
3	はじめに	3		骨子案にあった「計画の進行管理と評価」及び「他の計画との関係」の2つの項が削除されているのはなぜか。	「計画の進行管理と評価」については、進行管理及び評価を行うのは基本計画の内容であるため、基本計画に記載することとし、構想部分からは削除を行いました。 「他の計画との関係」については、P3のI - 1「策定の趣旨と背景」に「まちづくり基本条例」において総合計画を市の最上位計画として位置づけていることを明記したため、そこに包含される内容と判断し削除を行いました。
4	はじめに	4	II - 1 - (4)	SDGsの17の目標を用語解説に載せてほしい。	用語集を作成する際に対応します。
5	はじめに	5	II - 1 - (6)	将来的(何十年後か)には、東京一極集中は緩和され地方に人口が戻って来るであろう。(国の政策もその路線で動いているし)また地方の自治体もそのようにしていくために、色々な手立てを講じていくはずなので、野洲市としても近隣自治体に後れを取らず、しっかりと連携して、地域都市(あるいは地域共同他市)として自立繁栄していく方策を取っていかなければならない。といったような視点で文章を構築できないだろうか。	将来的に地方に人口が戻ってくるというのは蓋然性が低い ため、近年の動きとしてある「地方創生」「田園回帰」をキーワードに追記しました。 近隣自治体と連携して創生を進めていく、という内容については現在記載の内容で対応できていると考えます。
6	はじめに	6	II - 2 - (1) 一番下の行	「市民に親しまれています」と書かれているが、そうとは思えない。・・・「親しまれています」で終わるのではなくて、表現をもう少し工夫した方がいいと思う。	修正しました。
7	はじめに	9	II - 2 - (4)	骨子案にあった「経営耕地面積規模別農家割合」のグラフが今回は削除されているが何故だろう。農家の大規模化はやはり今後とも必須かと思うので、こういったデータは付けておいたほうがいいのか。	掲載しました。

No	分類	ページ		委員からの意見	対応・質問に対する回答
8	はじめに	9	Ⅱ-2-(4)	「平成23以降は、第3次産業が第2次産業を上回る」と書かれているが、第3次産業の生産額は10年間あまり変わらず(むしろ減少傾向)、第2次産業の生産額が平成23年に大幅に(60%減)落ち込み、その後徐々に回復はしているが、平成28年においてもまだ戻っていない、と見るのが自然だろう。	修正しました。
9	はじめに	12	グラフ	第2回の資料と文言を変えた理由がよく解らない。	市民アンケートの設問に近くなるように修正を行ったためです。
10	基本構想	18	Ⅱ-1-(2)	年少人口が増加に転じるという根拠を知りたい。	目標人口の仮定においては、合計特殊出生率が人口置換水準の2.07まで上昇し、かつ社会増減をゼロと仮定しているため、2030年以降の年少人口は増加に転じています。
11	基本構想	18	Ⅱ-1-(2)	市の将来像として、どのような世帯構成が望ましいかというのを載せないで基本構想にならないのではないだろうか。	年齢構成及び世帯構成については、目標人口から推計される推計値であるため、記載方法を修正しました。
12	基本構想	17～22		現状はこうなっていて、課題はこうで、将来はこうにしていこうというように、全項で統一した書き方をした方がよい。	No11への対応及び書き方を修正しました。
13	基本構想	25	Ⅲ-2	図中「野洲市の特徴」「■ICT産業をはじめとする製造業の厚い集積」はP8の生産額の推移と内容が矛盾していないか。	野洲市は製造業従業者割合が県内でも高く、製造業に支えられているまちであり、世界でも有数の企業が立地していることは特徴であると考え、「～製造業の立地」と修正しました。
14	基本構想	25		めざす将来都市像は、「自然と調和し、安全・安心で、みんなが参加意識を持って暮らすまち」。みんなで作っていこうというイメージで案を考えてみた。解説のところはただただ書くよりも箇条書きで、こんなまち、こんなまちという書き方でもいいかと思う。	将来都市像についてはご提案の通りとし、解説は削除し将来都市像のみの記載としました。
15	基本構想	26		基本目標1から5までの「○○なまち」という表現ではなく、中身だけでもいい。	ご提案の通りとしました。
16	その他			総合計画が簡単な1つの教材や手引書のようなものになればよい。各家庭や職場に1冊あるような、市民生活に活かせるものを作っていきたい。	概要版を作成することで対応させていただきます。
17	その他			転入者や転出者に簡単なアンケートをしてもらえないか。どういう理由で野洲を選択したのか、どういう理由で野洲を離れることにしたのかが分かると今後のまちづくりのヒントになる。	窓口アンケートを実施しています。転入・転出ともに仕事の都合という回答が最も多くなっています。

●今後の審議の参考にしていただくご意見

No	分類	ページ		委員からの意見	対応・質問に対する回答
18	基本構想	18	Ⅱ-1-(1)	2060年に「人口4.4万人」という目標でいいのだろうか。	素案でお示した数値は、人口ビジョンにおける「2025年に合計特殊出生率1.8、2030年に合計特殊出生率2.07を達成し、それ以降は合計特殊出生率2.07を維持する」「社会増減が均衡し、増減ゼロを継続的に達成する」という目標のもと設定した数値となっています。 合計特殊出生率については、平成29年の野洲市の合計特殊出生率は1.47ですが、従来から結婚・出産を促進するために求められる施策展開を積極的に図っており、実態に応じて合計特殊出生率の目標設定を変更する自治体もある中、高い目標を継続して設定しているところです。 社会増減につきましては、現時点では市街化区域が狭小で居住地の確保が困難である現況から鑑み、増減ゼロを継続しています。 ご意見いただいております「妥当」な人口につきましては、再度構想に戻って検討いただく際に、ご意見をいただきご審議いただきたいと思います。
19	基本構想及び基本計画			現状の課題を克服するためにこうするという視点と、30年後40年後の将来の理想像を眺めながらも10年こうしていくという視点と、その両輪で計画を立てていきたい。	今後の審議の参考にします。
20	基本構想及び基本計画	25～26	Ⅲ-2,3	将来のあるべきすがたとして、以下9つを提案する。 ①誰もが健康長寿でピンピンコロリを達成しているまち ②自動パーソナルモビリティでいつでもどこでも行けるまち ③自然と調和し、地域の持ち味を生かしたまち ④人と機械が共存しているまち ⑤すべての住人が都市経営に参加意識を持っているまち ⑥育児支援システムが充実し、社会全体で協力して子育てするまち ⑦想定以上の災害に対しても深刻な被害とならない安全・安心なまち ⑧食料・エネルギーをある程度自給自足できているまち ⑨みんなに行き渡る質の高い教育環境が確保されたまち	今後の審議の参考にし、基本計画への反映を行います。